

小平市特別支援教育総合推進計画（第二期）後期計画策定にかかる
アンケート調査の対象及び実施方法について

1 目的

令和8年度から令和12年度までの「小平市特別支援教育総合推進計画（第二期）後期計画」の策定にあたり、現状を把握するための必要な基礎資料の作成を目的とする。

2 アンケートの調査対象及び抽出方法

- (1) 市立小・中学校の特別支援学級に在籍する児童・生徒及び保護者（300世帯程度）
すべての在籍児童・生徒及びその保護者
- (2) 特別支援教室及び難聴・言語障がい通級指導学級に在籍する児童・生徒及び保護者（700世帯程度）
すべての在籍児童・生徒及びその保護者
- (3) 通常の学級に在籍する児童・生徒の保護者（200名程度）
以下の①から③の方法で計5校を抽出し、小学校においては第5学年の任意の1学級、中学校においては第2学年の任意の1学級を対象とする。（1学級約40名×5学級の約200名）
 - ①知的障がい特別支援学級設置校の小・中学校からそれぞれ1校を無作為抽出
 - ②特別支援学級未設置校の小・中学校からそれぞれ1校を無作為抽出
 - ③情緒障がい特別支援学級設置校である小平市立小平第四小学校
- (4) 通常の学級に在籍する児童・生徒（200名程度）
(3)と同様
- (5) 市立小・中学校に在籍する教員（100名程度）
全市立小・中学校に在籍する教員を対象に無作為で抽出する。

3 実施方法にあたっての留意事項

- (1) 上記2の(1)及び(2)の児童・生徒については、保護者へのアンケート調査票内に児童・生徒へのアンケート項目を設け、保護者付添のもとで可能な限りで回答を得る。
- (2) 調査票を任意のWEBアンケートフォームで作成し、回答用URLを記載した依頼文書を各学級から保護者（世帯毎）に配付する。また、依頼文書に任意のID・パスワードを付番し、重複回答を防止する。
- (3) 調査票回収にあたり、督促は行わない。

4 今後のスケジュール

令和6年9月27日	特別支援教育推進委員会
令和6年10～12月	アンケート実施・回収・分析
令和7年3月	アンケート結果報告